



～幼児期は手をはなさず～（子育て四訓より）

公共の場での過ごし方をしつける

子どもが公共の場で騒ぐと、親は気が気ではありませんね。赤ちゃんならともかく、4、5歳位になれば聞き分けてほしいなと思うかもしれません。

1歳を過ぎたらしつけが徐々に始まります。しつけとは、間違っただけを注意するのではなく「正しいやり方はこうです」と教える事です。できなくても教える、できるまで教えるというのがいいと思います。

教え方としては、事前、最中、事後と3回言います。「しつけのサンドイッチ」です。例えば図書館に出かける前に「図書館でお話する時は小さな声でしましょうね」と言います。図書館で大きな声を出したら「ここでは大きな声だった？小さい声だった？」と聞き、親が言った事を思い出させます。帰ってからも「図書館ではどうするんだった？」とか「ちゃんと小さな声で話せたね」と認めてあげましょう。すぐにはできませんし、できたと思っても又失敗します。繰り返ししつけましょう。

できるようになるのは、個人差があります。なかなかむずかしい子の場合、滞在時間を短くしたり、ある程度できるようになるまで連れていかないのも、一つの方法です。例えば我が家の場合、子どもは3人とも声が大きく静かにできなかったため、3番目が4歳位まで、レストランには連れて行きませんでした。（にぎやかなうどん屋さん等には、たまに行きましたが）もういい頃かなと、初めてレストランに連れて行った時の事です。一口料理を食べた3番目が「こんなおいしいもの、初めて食べた！」と大きな声を出しました。周りがクスクスと笑ったので、小学生の長男がすかさず「小さい声で話さなんよ」と注意してくれて、その後は静かに食べられたのですが、『長男、ありがとう。でも、笑われた理由はそこじゃないのよ』とツッコミたかった私でした(^_^;

家庭での過ごし方

家庭で一番大事なのは、基本的な生活習慣を整える事だと私は思います。自分のやりたい事が思いっきりできる力は、家庭での食事や入浴、睡眠等、体や心をケアする事で生まれると思うからです。

でも、他にも大事な時間がありますね。それは、「家族との関わり」です。他愛ないおしゃべりやふれあい、ちょっとした遊びや本の読み聞かせ等、子どもの心をより豊かにするのは家族との過ごし方だと思います。小さい時はなるべく時間を作り、一緒に過ごしてほしいと思います。

私の個人的な意見ですが、父親母親をはじめ、同居の家族がよく関わっている所は、子どもの心もより豊かに育つように思います。誤解のないように言っておきますが、単身家庭で父親や母親が不在、あるいは祖父母は遠方で会えない、というのは問題ありません。問題なのは、家にいるのに子どもと関わらない、あるいは自分の趣味やつきあいばかりを優先している場合です。例えば、家で親がゲームばかりしている、SNSに夢中で、子どもの話には生返事、休日家族と過ごす予定を平気でキャンセルして、友人と遊びに出かける等、大切な子どもとの時間をついながしるにした事はありませんか？

子どもは「時間食い」です。大人の時間をたくさん食べないと大きくなれません。子どもと時間を共有しましょう。子どもと話し、一緒に遊び、家族がみんなですっかり関わって育てましょう。大変な事も多いけど、二度と来ない幸せな時間です。応援しています。

前回、アンケートをお願いしましたところ、保護者の皆さまからのご回答を頂き、大変有難く、今後の通信の参考になる事が多々ありました。通信を書いていて、このような内容で良いのか迷う時もありましたが、又がんばって書いていこうと思えました。本当にありがとうございました。

